

第10回生産マイスター検定 1級の結果振り返りと現場の活動から

生産マイスター検定委員 石田 秀夫

■ 第10回検定の結果を振り返る

今回の1級の結果について振り返ると、「納期・生産管理」および「安全・環境」の得点率が60%を下回ると低い結果となっています。なお、大きな傾向としては過去も同様です。

「納期・生産管理」では、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの問題の得点率が低くなっています。

1級は主に管理者が対象ですが、それは「製造課の経営者」という位置づけですので、経営観点からもキャッシュ・コンバージョン・サイクルは、ぜひ理解してください。

例えば、自社の職場の在庫が一日分でどのくらいの金額になるのか改めて把握してみましょう。何千万でしょうか？あるいは何百万でしょうか？いずれにせよ、決して小さくはない数値となります。これが、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの計算式の1日あたりの売上原価に相当します。このように、現場で起こっている事象と、管理指標及び数値と経営指標を関連づけて考えていくことが、管理者の大きな役割の一つなのです。

また、「安全・環境」の得点率も低めですが、特に安全は職場の基本であることから、日常の安全遵守行動の徹底に加え、知識面もしっかり高めていくことが大切です。その観点から、理解度を高めて頂きたいと思います。

■現場の活動から

私がコンサルティングを行っているC社では、工場更新プロジェクトを機会に、工程及び業務、そしてサプライチェーンの大改革を行いました。そこで問題視されたことは、競合に比べてキャッシュ・コンバージョン・サイクルの日数が45日も長かったということです。

これは、この会社の売上原価から換算すると、約60億円のキャッシュとなります。

平易に言えば、競合より60億円多い在庫で運営しており、その分、経営としては運転資金が必要となっていたのです。この金額は、更新する工場の建屋建設費の多くを充当できるレベルです。

このようにキャッシュ・コンバージョン・サイクルを考える意味は大きく、このことから、在庫削減・リードタイム短縮を目指し、生産計画をはじめ、サプライチェーンのトータルな改革が始まり、活動後大きな経営成果をえることができました。皆さんの会社・工場も是非一度学習した内容をベースに算出し、課題設定していただけたらと思います。

以上